



ほけんだより

令和4年2月1日
認定こども園あゆのさと

気温が低く空気の乾燥した日が続いています。2月4日は、暦の上では立春で、春を迎える時期とされていますが一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。園では胃腸炎を伴うかぜが多くみられ、全国的にはコロナウイルス感染症が急激に拡大しています。引き続き感染予防対策を行ってまいりますので、園の【ほけんのおやくそく】を再度ご確認ください、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

薬の預かりについて

薬を持参する場合は以下の3点をそろえて透明なビニール袋に入れ、保護者の方が直接職員に手渡してください。

1. 与薬依頼票
必要事項を記入する。
用紙は、職員室の前のカウンターにあります。
2. 薬剤情報提供書
薬局でもらう薬の説明書やお薬手帳のコピーなど、お預かりする薬の内容がわかるもの。
3. くすり
粉薬は1回分を小分けする。
水薬も小さな容器に移し1回分を持参。
* 医師の処方する薬以外はお預かりしません。
* 飲み薬と外用薬(塗り薬や目薬など)は別々の袋に入れ、それぞれに与薬票を記入し入れる。
* 塗り薬は別の用紙に、どこどの様な場所に塗るか記入する。
* とんぷく薬など、症状を判断して与薬するものについては対応できません。
☆ 医療機関を受診した際は、こども園に通っていることを医師に伝え、3回/日飲むところを2回に、食前後薬は食後のみにできるか相談してください。(下記リスクの可能性があるので)

薬を預ける場所

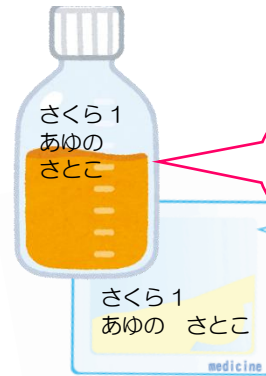
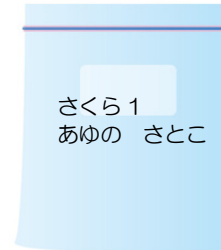
* 開園～8:00→登園する保育室

* 8:00～→事務所

※必ず職員に直接渡してください！！



薬の説明書等はできれば切り取らずそのまま入れてください



外袋・小分けの袋・ボトル 全てに名前を書いてください

飲み終わった薬はボトルだけでなく粉薬の袋も返却しますので、ご家庭で確認後捨ててください。

園で保育士・看護師が薬を飲ませることは、誤薬(間違えて飲ませること)や飲み忘れ、紛失、こぼしてしまうなどのリスクを伴います。そのことを保護者の方が了承したうえで行うという県の担当課からの指導があります。リスクを最小限にするために上記の【おやくそく】を守っていただくようご協力をお願いします。

体調不良時の対応について

風邪をひいて体調を崩す子どもが増えています。発熱・咳・鼻水だけでなく、下痢や嘔吐などの症状もみられています。

かぜでは、夕方頃から熱が上がり、翌朝には下がる状態が続くことがあります。

園では、**解熱から24時間は自宅で静養していただくようお願いしています。**

24時間以内に登園された場合、まずは受診をしていただき、医師の登園許可が必要となりますのでご承知おきください。

登園後、37.0℃以上の微熱があった場合は、水分補給等行い再度測定し、下がらない場合は保護者の方に状況報告の連絡をいたします。37.5℃以上の場合も、同様の対応後、連絡をいたしますので、速やかにお迎えをお願いします。

発熱の他に、嘔吐・下痢が2回みられた場合も、連絡をさせていただき、状況によりお迎えをお願いします。

こども園は、集団生活の場です。感染症拡大防止のため、上記の対応をとらせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

現在流行しているコロナウイルスのオミクロン株感染症は、かぜと変わらない症状とのことで、どちらか見分けるのは検査するしかないそうです。10歳以下の子どもの陽性率が高くなっています。「かぜかな?」と思ったら、受診をお願いします。

受診した場合は、**受診医療機関名・受診理由(症状)・検査結果を必ず、園に連絡をお願いします。**



冬の事故に注意

豆、ナッツ類はのどにつまりやすいので気をつけましょう！

消費者庁は5歳以下の子供には硬い豆類やナッツ類を食べさせないよう警告しています。



やけど注意

- 冬は、やけどを起こしやすい状況が多くなります。
- 誤ってやけどをしてしまったら...
- すぐに水道水で15分以上冷やす
- 大人の手のひら以上の大きさで赤くなっている
- 500円玉以上の大きさの水ぶくれがあれば受診
- 水ぶくれはつぶさないようにする
- ※あくまでも目安です。迷った時は、直接医療機関に相談してください。

